

## 待つ



様子を見ても大丈夫  
通常の診療時間内に  
受診しましょう

水分や食事がとれている  
熱があっても普通に睡眠がとれる  
あやせば笑う、遊ぼうとする  
それほど機嫌は悪くない、顔色も悪くない  
薄着にすると機嫌がよくなる

## 行く



救急外来を  
受診しましょう

生後3か月未満で、38 以上の熱がある  
水分を受けつけない、おしっこが半日くらい出ない  
ぐったりしている  
下痢や嘔吐をくり返している  
けいれんを起こした  
顔色が悪く、あやしても笑わない  
眠ってばかりいる(呼びかけてもすぐ眠ってしまう)  
激しく泣き、あやしても泣きやまない  
夜も眠らず機嫌が悪い  
呼吸がおかしい(不規則、胸がペコペコしぼむ、鼻の穴がヒクヒクする)  
熱が出る前に、高温・多湿の場所に長くいた(熱中症の可能性ある)



## 注意すること

**熱があっても元気そうだったら、解熱剤は使用しないようにしましょう。**

(解熱剤は決して病気の原因を根本的に治す薬ではありません)

38.5 以上で、食欲がなく、頭痛などがあってつらそうな時、眠れない時などに、5～6時間以上の間隔をあけて、1日2回までを目安に使います。  
使用にあたっては、かかりつけ医の指示に従いましょう。

小児への解熱剤の成分として、国際的にその使用が推奨されているのは、アセトアミノフェンとイブプロフェンです。